

図書室だより

文林中学校 学校図書館支援員



令和6年3月15日発行
第11号

3月になりました。今年度も残りわずかです。1年を振り返ってみて、どんなことがありましたか？
皆さんの新生活がより素敵なものになるよう、応援しています！

図書委員会の活動報告



図書委員会で前期に行われた千駄木小学校の児童への本の紹介について、
お礼のメッセージが届きました！
図書室前の廊下に掲示していますので、皆さんぜひ見に来てください！

図書室からの大事なお知らせ

文林中学校の本をお持ちの人は返却をお願いします。
特に3年生のみなさんは、卒業前に返却忘れがないようにお願いします。

令和5年度 最終返却日 3月22日(金)

自分が本を借りているか確認したい場合は、司書がいる日に図書室にきてください。

1, 2年生も返却し忘れた本がないようにしてください。



せっかくだから読んでみて！司書が好きな本

司書というお仕事をしている私は、本が大好きです。小説はもちろん、ファッションの本、写真の撮り方、ごはんの作り方、歴史のわかる本、エッセイ、マンガ…なんでも読みます。

そんな司書が好きな本を今回はご紹介したいと思います。そういえば…と気が向いたら手にとってみてください。紹介している本は、文林中学校にあります。1, 2 年生はぜひ、借りに来てください。3 年生は高校の学校図書館や公共図書館で、探してみてください。



『その本は』ヨシタケシンスケ/著

又吉直樹/著 ポプラ社 913/ま

二人の若者が王様から世界中の様々な本の話聞かせてほしいと頼まれ、旅先で見つけた本の話聞かせる短編集のようなお話です。

ヨシタケさんの絵が中心のお話と、又吉さんの文章が中心のお話が交互に続くのでとても読みやすく、内容も笑えたり泣けたりとバリエーションが豊富で、気が付いたら読み終わっていました。

衝撃のラストは必見です。



『ホラー映画で殺されない方法』

セス・グレーム＝スミス/著 竹書房 77/ぐ

「今この本を読んでいるならば、あなたはホラー映画の中に閉じ込められている可能性が高い。」という衝撃的な言葉から始まるハウツー本です。

とんでもない状況でも真剣に打開策が書かれているのはちょっとびり笑いを誘います。

巻末にホラー映画のオススメなども載っているので、気になる人はこの中の作品をあわせて観るのもいいと思います。

『本好きの下剋上』

香月美夜/著 TO ブックス YA913/か/1-1

日本に住んでいる三度のご飯よりも本が好きな女性が、ある日魔法のある世界に少女として転生してしまい、本を読むために奮闘するファンタジー小説です。

本を読む、という目的のために周りも巻き込んで進んでいく姿はとても痛快です。

コミックやアニメなどメディアミックスも豊富なので、気になった方はぜひ読んでみてください。



みなさんが、新年度も、素敵な一冊と出会えることを、祈っています！
おすすめの本、ぜひ司書におしえてくださいね！

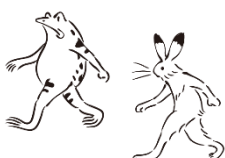
懐かしくて、新しい東京

根津神社

今から約1900年前に日本武尊やまとけるのみことが千駄木の地に創建したのがはじまりと言われている、歴史のある神社です。

江戸時代には五代将軍・綱吉つなよしの兄である綱重つなひげの子どもの綱豊つなとよ(後の六代将軍・家宣いえのぶ)を養子にむかえ跡継ぎにすると決めた時に、当時千駄木にあった根津神社を、綱重の屋敷跡地である今の場所へ移しました。ツツジが有名で今でも文京つつじまつりなどの催しが開催されていますね。他にも、境内が時代劇の撮影として使われたこともあるそうですよ。

リフレッシュしたい時に足を運んでみるのもいいかもしれませんね。



【参考】『行ってみよう東京江戸たんけんガイド』

田中ひろみ/著 PHP 研究所 291/た

図書室のお知らせ

☆支援員不在時には返却ボックスに図書を返却することができます。ご活用ください。

開室日は月・火・水・木・金です。

開室時間は昼休みです。

貸出冊数は最大2冊までです。

返却後は所定の棚へ戻しましょう。

期限は2週間です。

期限は必ず守ってください。

まだ読みたい場合は返却後、

もう一度貸出を行ってください。

調べ物の図書、読みたい図書を、

お探します！

お気軽に声をかけてください♪